

事例 No.	90	人口規模	80万人以上	地域ブロック	近畿	事業タイプ	仕組みづくり	事業主体	社会福祉協議会 他
事業名	児童館キッズクラブ								
実施地方公共団体名	神戸市(兵庫県)								
特徴・ポイント	<p>保護者が交代で子どもの世話をすることで、保護者のリフレッシュできる機会を設けている。(世話をする母親をキッズママ、リフレッシュできる母親をお出かけママと呼んでいる。)</p> <p>保護者が主体的に活動できるように、児童館はその活動をサポート(支援)する。</p> <p>保護者が主体的に活動に関わることで、保護者の仲間づくりを促進し、地域の子育て力の向上につなげる。</p>								
事業のねらいと内容	<p>【ねらい】 地域で安心して子育てができる環境づくりの一環として、児童館で保護者の相互援助活動を促進する。</p> <p>保護者同士が交代で子どもを世話することで、安心して保護者と子どもの分離ができ、保護者のリフレッシュできる機会を設けて、育児ストレスの解消に役立てる。</p> <p>保護者同士、子ども同士の仲間づくりの促進を図る。</p> <p>【内容】 保護者同士が活動内容を話し合いの上で決め、主体的に活動する。</p> <p>保護者3名程度が子どもの世話をし、その他の保護者は子どもと離れて自由な時間を過ごす。</p> <p>児童厚生員等の資格を有するスタッフ(サポートスタッフ)が活動をサポート(支援)する。</p>								
導入・実施の背景・経緯 (事業の必要性)	核家族化が進み、近所同士の付き合いが希薄化している状況の中、保護者同士が相互に子どもの面倒を見て交流を深めることで、地域の子育て力の向上を図ることが求められている。				導入・実施に際して苦労した点				
事業の効果	子ども同士、保護者同士の仲間づくりが進んだ。 保護者が安心して子どもを預けることができ、自分の自由な時間を持つことでリフレッシュでき、育児ストレス解消につながっている。				実施にあたってのネックをどのように解決したか				
事業のアピールをどのように行ったか	<ul style="list-style-type: none"> ・「広報こうべ」(神戸市の広報紙)で市民への周知を行う。 ・各児童館が発行する「児童館だより」で利用者等に周知する。 など 				<p>保護者の活動を支援するサポートスタッフの確保 児童館に勤務するパート職員(有資格者)の勤務日を増やすことで対応。</p> <p>保護者の主体性をどのように育てていくのか サポートスタッフを中心として、児童館職員全体で活動をサポート(支援)する。</p>				
必要な協力先・実施主体とその確保策	<p>(必要な協力先)</p> <p>全館実施に向けた未実施児童館への働きかけ。</p> <p>(確保策)</p> <p>児童館の館長を経験した職員により構成された子育てコーディネーターが児童館を巡回し相談や指導を行っているが、その際に当事業の内容を分かりやすく説明し、実施につなげていく。</p>								
概算事業費 (千円/年度) 平成18年度予算	6,927千円				問い合わせ先		所属部署:保健福祉局子育て支援部児童育成係 TEL:078-322-5210 FAX:078-322-6043		